

製品事業本部の取り組み

当社の合材工場における重油などの化石燃料や電力のエネルギー消費量は、大成グループ全体の25%に近い割合を占めています。【TAISEIVISION2030の3つのX】の基、サステナビリティトランスフォーメーション「SX」に対して至上命題として改善を図ることは、グループ全体の削減に大きく寄与するため、実現に向けてさまざまな取り組みを行っております。

CO₂ アスファルトプラント設備更新による脱炭素化

札幌中央アスコン

2022年4月、当社単独工場である札幌市内の札幌中央アスコンをリニューアルしました。

当工場は脱炭素化に特化した機械設計としており、業界の脱炭素化に先駆けて燃料のLPG化やダウンサイジングによる高効率化、グリーン電力の採用などにより、二酸化炭素排出量を2030年目標である従来の50%に削減させています。また、硫酸酸化物の排出ゼロも目指します。

工場敷地の壁面には北海道の四季や札幌の代表的なシンボルである時計台とクラーク像をイラストで描き、より地域に親しまれやすいデザインとしました。

今後も地域に根差し環境に配慮した工場運営を図っていきます。



札幌中央アスコンプラント全景



壁面外観

いわきアスコン

2022年8月、地元建設会社をスポンサーに3社の共同企業体として、福島県いわき市で運営するいわきアスコンをリニューアルしました。

当工場は燃料をガス化、高効率機器の導入により、従来プラントと比較して、二酸化炭素排出量を35%削減、さらにプラント本体をシェルターで囲み、粉塵・騒音などによる周囲の環境負荷の低減を図っています。



いわきアスコン全景

岩手中央アスコン 中間処理施設

当社では、循環型社会の一旦を担うべく、古くなった舗装やビルなどを解体した際に発生する廃材を受け入れ、中間処理により再びアスファルト合材の材料となる再生骨材や舗装の支持層となる再生路盤材を製造しています。

2022年4月、当社がJVスポンサーを務める共同企業体岩手中央アスコンの中間処理施設をリニューアルしました。

導入した設備は従来の機械より処理能力が大きく、また、機械を建屋で覆うことで景観や環境にも配慮した造りとなっています。事務所・試験室も建て替え、東日本大震災時の教訓をもとに太陽光発電を利用した非常用電源を設置。非常時にも万全に対応します。



中間処理施設全景



試験室



骨材置き場棟

CO₂ 脱炭素化に向けた取り組み

- ガス化や廃食油などの代替燃料への燃料転換
- 低炭素(中温化)合材製造装置の全国導入展開
- 高効率機械装置による省エネ化
(工場建替、設備更新)

脱炭素化への取り組み以外にも、デジタルトランスフォーメーション「DX」としてプラットフォーム型オーダーシステム「アスプラネット」や設備管理業務サポートシステム「NEOシステム」を開発・導入し、働き方改革にも有効に活用しています。

大成スピリットである自由闊達・伝統進化・価値創造を胸に、グループ理念である「人がいきいきとする環境を創造する」を達成するため、これからも各自が目標達成および課題解決に向けて能力を最大限発揮させていきます。